



ら ぶ っ く  
**La・Book**

6月号

No.84

**三四六さんが安曇野へやって来る！**

安曇野市教育委員会主催

中央図書館開館 10 周年記念

**松山三四六さん講演会**

**三四六「みらい」チャンネル～創作ウラ話～**

今年、安曇野市中央図書館が開館 10 周年という記念の年にあたるため、タレント、ラジオパーソナリティとしてのみならず「ワインガールズ」などの作者として著名で、長野県と縁が深い松山三四六さんを講師にお招きし講演会を開催します。

大学の客員教授としての顔も持ち、多方面に活躍している松山三四六さんの、いろいろなウラ話を是非とも聞きにいらしてください。



- ・日 時  
7月20日(土)  
15:30～
- ・場 所  
穂高交流学習センター みらい
- ・定 員  
200名 無料  
(抽選・座席指定)
- ・申し込み先  
市内各図書館
- ・申し込み期限  
6月26日(水)まで

中央図書館

**奮闘!?調べもの日記(レファレンス)**

「令和」の出典は万葉集

元号が「令和」に変わり一ヵ月ほどが経ちます。耳慣れなかった「令和」にもそろそろ慣れてきた頃でしょうか。4月の始めに「令和」が発表され、出典元の万葉集がプチブームとなりました。その頃、中央図書館でも万葉集をご覧になりたいという利用者が来るだろうと、カウンターには典拠となった場所にしっかり付箋を挟んだ所蔵の万葉集をズラッと待機させたところ、何人もの方が手に取って読んでいました。

おさらいとなりますが、「令和」は万葉集第五巻の「梅花の歌三十二首 并せて序」に出典があります。歌の前にある序文の

「初春の令月にして、気淑く風和ぐ」という文からとられています。「初春の佳き月で、気は清く澄みわたり



風はやわらかにそよいでいる」(引用資料)という意味です。新しい時代に相応しく、清々しい素敵な元号ですね。

【引用資料】

『万葉集 二』(新潮日本古典集成)新潮社 2015 p.61

【参考資料】

『万葉集』(日本の古典をよむ 4)小学館 2008

『万葉集 二』(完訳 日本の古典 第三巻)小学館 1984

**私と図書館**

私にとっての図書館  
三郷中学校三年 中村朱音

私は、小学校の頃から本がとても好きでした。中学校に入ってから、休み時間は図書館に行くこと、読書をするのが習慣になっており、図書館が身近な場所でした。また、中学一年生では図書委員を務め、二年生の職場体験では豊科図書館へ行きました。図書館の仕事は大変だけれど、楽しくやりがいのあるものだと思わせていただきました。

そして今年、図書委員長として図書委員会を任されることになりました。でも私がしっかり運営できるのか、楽しい企画をできるのかという不安もあります。ですが、周囲の人の手を借りたり、今までの仕事の経験を活かして本の魅力を伝えることで、居心地の良い図書館を目指し頑張ります。

最近、図書館へ行く回数、読書の時間が少なくなっています。本が好きです。これからも図書館を利用していきたくです。



## 5月予約ランキング

### 一般書

- 1 平場の月／朝倉かすみ
- 2 シーソーモンスター／伊坂幸太郎
- 3 そして、バトンは渡された／瀬尾まいこ
- 4 マジカルグランマ／柚木麻子
- 5 ノースライト／横山秀夫
- 6 アンド・アイ・ラブ・ハー／小路達也
- 7 樹木希林 120 の遺言／樹木希林
- 8 呪護／今野敏
- 9 検事の信義／柚月裕子
- 10 傲慢と善良／辻村深月

### 児童書

- 1 鹿の王 水底の橋／上橋菜穂子
- 2 サツマイモの絵本／たけだひでゆき
- 3 りんごかもしれない／ヨシタケシンスケ
- 4 はらぺこあおむし／エリック・カール
- 5 文房具のやすみじかん／土橋正
- 6 いどめ! さいごのほねほね七ふしぎ／カバヤ食品株式会社
- 7 No,David! /by David Shannon
- 8 いいこだ、ファーガス／デイビッド・シャノン
- 9 大阪冬の陣・夏の陣／加来耕三
- 10 あやうしたんていじむしょ／トルロ

### AV 資料

- 1 POP VIRUS／星野源
- 2 BOOTLEG／米津玄師
- 3 アムニージアック／レディオヘッド

中央図書館から

### 本のソムリエ (司書) おすすめ本

#### 一般書 『新宿駅はなぜ1日364万人をさばけるのか』

田村圭介・上原大介／著 SB 新書

表紙

「新宿駅」は、最も混んでいる駅としてギネス世界記録に登録されています。駅の中は、もはや巨大迷宮(ダンジョン)です。迷ったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

新宿駅に魅せられた、建築士の田村圭介さんとゲームクリエイターの上原大介さんという異色のタッグが、交互に案内し、攻略していく本です。

#### 児童 『どしゃぶり』

おーなり由子/ぶん はたこうしろう/え 講談社

表紙

子どもたちは、雨が大好き！  
ばらばら、じゃばば、びっしやん…。にぎやかな雨の音、そらのおい、じめんのおいもする。

ぴしゃっ、しゃばしゃば、ずぎあずぎああ、あめがうたっているみたい。

雨の高揚感、爽快感が伝わってきます。  
裏表紙、おかあさんの表情はわかりませんが、  
気持ちはわかる気がします。

## 森の図書館～信州花フェスタに参加してきました～

5月11日(土)・12日(日)、県立長野図書館・松本市図書館・塩尻市立図書館・安曇野市図書館4館合同で、松本平広域公園信州花フェスタの会場の一角に「森の図書館」を開館しました。涼しい森の中、テントを張り、各館から持ち寄った花に関する本を木箱に並べ、飾り付けをし、臨時図書館の完成です。周りの木陰では、手に取った本を座ってゆっくり読む人たちがおり、穏やかな時間を過ごしているようでした。

松本市は花の種と布製のカードケース、塩尻市は動くお花のワークショップ、安曇野市は、まるやまあやこさんイラストのカードケースと図書袋運動のお知らせを配り、図書館をPRしました。また、4館の職員で、手遊びと大型えほんの読み聞かせをゲリラ開催！小さいお子さんたちとともに楽しいひと時を過ごしました。



### 編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111  
豊科図書館 ☎71-4022  
三郷図書館 ☎76-3078  
堀金図書館 ☎72-3601  
明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます))

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※  
安曇野では田植えも一段落し、水鏡が北アルプスをきれいに映し出しています。六月といえば「梅雨」、梅雨といえば「紫陽花」、紫陽花といえば「かたつむり」などと言葉が浮かんできますが、やはり雨の日が続く時期はとかく家に閉じこもりがちになります。そんなときに、図書館に出かけてみるのはいかがでしょうか？  
一人でゆっくりするのもよし、家族で読書を楽しむのもよし、身近な図書館をお楽しみ下さい。

